

# 豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161

## C O N T E N T S

- 2 卒業おめでとう
- 3 関会長就任挨拶 / 新会員に期待する
- 4 臨時評議員会開催報告
- 5 追悼 名塩良一郎会長代理
- 6 2022年度入試動向について
- 7 キャリア支援センターより
- 8 現役学生インタビュー
- 10 OGの本棚
- 12 OPEN SPACE
- 15 支部現況・連絡先
- 16 クラブ・サークル活動通信



# 卒業おめでとう

## 卒業生の声

- Q1 学園大に入って良かったこと
- Q2 大学で頑張ったこと

- Q3 4月からは…(進路など)
- Q4 あなたにとって「仲間」とは

### 人文学部英米文化学科 増澤 安音

所属ゼミ／森川慎也ゼミ  
所属サークル等／ダンスサークル



- Q1 他学部の講義を受講することができるため、自分の専攻する分野以外にも幅広く学ぶことができるところです。
- Q2 早起きです。大学まで片道2時間近くかかるため、JRの遅延があっても講義に参加できるよう、早めの行動を心がけていました。
- Q3 勤務地はまだ決定しておらず不安なことばかりですが、新しい経験を楽しみながらいろいろなことを吸収していきたいです。
- Q4 不安や心配事があれば相談に乗ってくれて、同じ目標に向かって協力して取り組むことができる人だと思います。

### 経済学部地域経済学科 斉藤 未来

所属ゼミ／早尻正宏ゼミ  
所属サークル等／ソフトテニス部



- Q1 大学での講義や友人、OBの方々から様々な価値観を学び、視野が広がりました。興味や関心事も増え、沢山のことに挑戦できました。
- Q2 部活では念願の全国大会に出場しました。ゼミでは地域研修や皆との話し合いを通じて、資源から地域を活性化する方法を学びました。
- Q3 農林水産省の職員として、食料の安定供給や農業を未来に繋いで行くために、大学で学んだことを活かして北海道の農業を盛り上げていきたいです。
- Q4 多くの刺激を受けた、かけがえのない存在です。大学生生活の多くの時間、苦楽を共にした仲間達と卒業後も交流を続けていきたいです。

### 工学部建築学科 赤坂 飛龍

所属ゼミ／足立裕介ゼミ  
所属サークル等／バレーボール



- Q1 就職活動の支援が手厚いことです。学部の教授、キャリア支援センターのご支援にとっても感謝しています。
- Q2 幅広い知識を身に付けることです。大学の講義や研究、就職活動を通じ、興味や関心を広げ、自分を成長させることができました。
- Q3 ゼネコンで施工管理の職に就きます。学生生活で得たことを活かして働き、建築業界、社会に貢献したいと思います。
- Q4 4年間、辛いことは一緒に乗り越え、互いに切磋琢磨して高め合える存在です。卒業後も連絡を取り合っていたいと思います。

### 経営学部経営学科 田村 シュウ

所属ゼミ／伊藤ゼミ



- Q1 夢をかなえる第一歩を踏み出せたことです。第一志望の企業から内定をいただきました。内定をいただくまでにゼミの教授をはじめたくさんの先生方、先輩、友人に助けられました。頑張っている人を全力でサポートして下さる環境があって本当に良かったです。
- Q2 塾講師としてのアルバイトです。中学から通っていた塾で、高校卒業後すぐにアルバイトを始めました。アルバイトでは講師リーダーとして、新規教室の立ち上げや経営企画部の一員として学生立場からアドバイスをさせていただいておりました。なかでも本気で目の前の生徒の人生を変えたいとがいた日々はこの先も忘れられない経験です。
- Q3 東京にあるインターネット広告会社で働きます。まだ配属先は決まっていますがいつか世の中を動かす大きなトレンドを創ることができるプロデューサーを目指して東京で一人。孤独に負けず、会社の仲間と仕事に打ち込んでいきたいと思っています。
- Q4 辛い時でも同じ時間を過ごしてくれる人が仲間だと思っています。アルバイトでなかなか成果が出せずもがいていた時に、何も言わずに助けてくれた先輩方や僕の顔を見て、優しい言葉をかけてくれる生徒がいました。そして僕は彼らのために頑張ろうと思えました。僕にとって仲間は生きる原動力です。

### 経済学研究科経済政策専攻修士課程 石倉 彩子

所属ゼミ／野口剛ゼミ  
所属サークル等／法研究会



- Q1 私は、法学部から経済学研究科へ進学し、幅広い分野を学ぶことができました。勉強に集中できる環境が整っていると思います。
- Q2 学業とアルバイトの両立です。様々な人と関わり、様々な勉強をしていく中で、将来の目標を定めることができました。
- Q3 税理士事務所に勤めます。実務経験を積みながら、税理士資格取得を目指して日々勉強し、成長していきたいです。
- Q4 互いの成功を喜び、辛い時には支え合える存在です。上手くいかない時、相談できる仲間がいて、乗り越えることができました。

### 法学部政治学科 赤澤 麻緒

所属ゼミ／鹿谷雄一ゼミ・山本健太郎ゼミ  
所属サークル等／I部写真部



- Q1 在学者が多く、様々な価値観に触れることが出来ました。また、交通の便がよく長距離通学を楽に送ることが出来ました。
- Q2 学業とアルバイトの両立です。様々な人との関わりの中で、幅広い知識や教養を身につけることが出来ました。
- Q3 北海道警察事務職員として働きます。就職してからも勉強する習慣を保ち、北海道民が安心して暮らせるよう貢献していきます。
- Q4 どんな時でも互いを助け合える貴重な存在です。出会った人には感謝と恩返しのお気持ちを忘れずにこれからも大切にしていきます。

# 会長就任挨拶

## 北海学園大学同窓会「豊平会」第4代会長・関 寛

(昭和45年・法学部1部法律学科卒業)

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、同窓会活動に格別なるご理解・ご協力を賜りこの場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、本年令和4年2月1日に開催されました「令和3年度 第2回臨時評議員会」におきまして、新しく同窓会会長に就任させて頂いたことになりました法学部1部法律学科 昭和45年卒業 第4期の関 寛(せき ひろし)と申します。

森本前会長のご逝去に伴い、後を受け、会長をお引き受けしました。これまで副会長を4期16年つとめさせていただきました。今後は、役員(副会長4名、幹事41名)45名の助けをいただき、北海学園大学同窓会の発展に尽力いたす所存でございます。

北海学園大学同窓会「豊平会」は、1954(昭和29)年3月、1期生と2期生が話し合い自らの門出を祝う会を開催するために同窓会を創ったのがはじまりです。同年6月13日、札幌産業会館で設立総会が開催され、会の名称は上原初代学長の命名による「豊平会(ほうへいかい)」。北海学園発祥の地名「豊平(とよひら)」を(ほうへい)とする呼び名とし、この地で学び巣立つ卒

業生が生涯忘れる事が無いようにする意図から「豊平会」と名付けられました。今日では9万4千余名の会員を擁し、支部は51あり、北海道のみならず、日本全国・海外で広く活躍しております。

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により通常の催し物・事業は実施できず、学生諸君も学業継続に影響があり、多くの経済支援を希望しております。この学生に対する支援として、大学には奨学金と食糧支援金として助成を行っております。

現在、北海学園大学同窓生は、社会の中核として様々な分野で貢献しています。新型コロナウイルス感染症の影響で色々な行動、活動が制限されていると思いますが、大学同窓会の主な目的である会員相互の親睦を図り、母校の発展に少しでも寄与できるように、同窓会が協力し、力を合わせて魅力ある活動を進めてまいりたいと思っております。

私達同窓生が、北海学園大学同窓生として誇りを持ち、横に縦につながり、社会に貢献し、母校北海学園大学を支援する組織として最高の力を発揮できるように皆様方のご協力を心よりお願い申し上げます。



### プロフィール

関 寛 (せき ひろし)

中道リース株式会社代表取締役

#### 経歴

- 1946年11月4日 生まれ。北海道帯広市出身
- 1965年 3月 北海道帯広三条高等学校卒業
- 1970年 3月 北海学園大学法学部1部法律学科卒業
- 1970年 4月 帯広市役所入所
- 1986年 帯広市市民公室秘書課長
- 1990年 3月 帯広市役所退職
- 1990年 4月 岳父・中道昌喜が創業した中道リース株式会社 常務取締役社長室室長就任
- 1991年 4月 同社専務取締役就任
- 1992年 4月 同社代表取締役副社長就任
- 1994年 4月 同社代表取締役社長就任
- 2022年 3月 同社代表取締役会長就任

#### 同窓会 経歴

- 1994年 6月 幹事
- 2003年 6月 副会長
- 2021年12月 会長代理
- 2022年 2月 会長

### 新会員に期待する

北海学園大学・同大学院の学生生活を終え、晴れの卒業証書・学位記を手に新しく社会に雄飛される皆様に心からお慶びを申し上げます。

本日からは北海学園大学同窓会の会員として新たに仲間入りしていただくことになりました。若く実行力に富む皆様をお迎えできることは本会としては何ものにも替えがたい力強さを感じるものであり、心から歓迎を申し上げます。

同窓会発足からの在り様は、同窓会が独立して存在するものではなく、常に母校北海学園大学の発展と一体となって将来を展

望するとともに、9万4千余名のひとりひとりがその重要な役割を充分にはたさなければならぬと考えております。

私立大学を取り巻く環境は、長引く経済不況と新型コロナウイルス感染症の拡大とその回復の目途が立たず、将来を見通せない状況にあります。

このような時期に、皆様を会員としてお迎えすることは、大変心痛なことではありますが、どうか社会人としての活躍を期するとともに、会員として母校の発展のため、大いに協力をお願いし、歓迎の言葉いたします。



# 令和3年度 臨時評議員会開催 第2回

令和4年2月1日(火)午後6時から札幌パークホテルにて令和3年度臨時評議員会(第2回)が開催された。

新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したなかで、卒業期91名、地域・職域支部47名、計138名(委任状含む)と同窓会役員47名(委任状含む)が出席した。

開会に先立ち令和3年6月1日に逝去された森本正夫会長と令和3年11月12日に逝去された名塩良一郎会長代理、令和3年度中に逝去された会員に黙祷を捧げた。

開会宣言後、関寛会長代理より同窓会活動への謝辞と名塩良一郎会長代理の逝去に際し、心より哀悼の意を表します。皆様とともに志を後世に引き継ぎたく存じます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議や活動の自粛中で油断のない状況ではありますが、皆様のご理解とご支援、ご協力をいただきたい、また、本日は、新会長選任の審議をよろしくお願い申し上げますとの挨拶があり、議長に藤本哲也氏(経済・昭和52年卒)、議長に平野一紀氏(法・昭和55年卒)、議事録署名人に卒業期から奥山敏康氏(経済・昭和53年卒)、地域・職域支部から五味川博都志氏(法・昭和47年卒・札幌南区支部)を選出し、議事に入った。



**第1号議案**  
会長選任について、議長はこれまでの経緯について事務局より説明をさせた。令和3年6月1日森本会長の逝去に伴い、会則第9条2項により名塩副会長が会

長代理となる。8月19日の臨時評議員会において、新会長選出は40数年振りであること、また適任者の選び方について審議し、副会長のもとで考察し時間を頂戴したい旨、承認される。9月24日副会長会議において、長年の経験と森本会長と同窓会を創設してきた名塩会長代理が適任と考え推薦し、10月18日常任幹事会において提案し、承認される。11月4日第2回幹事会において、名塩会長代理を新会長に選出する常任幹事会(案)を審議し、承認されて、評議員会へ諮ることとなった。

11月12日、名塩会長代理の突然の逝去により、11月24日開催予定の臨時評議員会を中止を決定し、会長選任について更に時間を頂戴したい旨、文書で通知する。11月17日・27日副会長会議で協議を続け、改めて選出の検討を行い、選考委員会の設置、常任幹事会、幹事会、臨時評議員会の開催、また、会議日について12月13日、令和4年1月13日、2月1日に開催することを決定し、幹事会に諮ることとした。

議長は幹事会の提案について、宮本雅次副会長より説明を求めた。皆様からの多くのご意見とご指導をいただき、副会長会議での検討材料としたことに変感謝している旨挨拶をする。

名塩会長代理の突然の逝去に伴い、選出を最初から見直すこととなり、手続きに瑕疵があつてはならないこと、恣意的な提案を避けることなどを注視することを念頭に協議を進め、選考委員会を設け、人選し、常任幹事3名、副会長2名、事務局1名の計6名で構成し、別室にて協議することを提案、令和3年12月13日第2回常任幹事会にて承認され、選考委員会の設置に伴い、選任が行われ、別室にて協議が行われる。引き続き再開された常任幹事会で、日和哲志選考委員長より新会長に関会長代理を候補者とする推薦と理由について説明がなされ、満場一致で承認された。この常任幹事会(案)を令和4年1月13日の第3回幹事会で審議



し、満場一致で承認された。この第3回幹事会(案)を審議いただきたい旨説明があり、関会長代理の経歴が紹介された。

議長は、新会長に関会長代理を推挙する提案について意見を求めた。

質疑応答が行われ、審議の結果、満場の拍手で承認された。

**第2号議案**  
その他について、事務局より今後の予定が報告される。

オミクロン株の蔓延により令和4年3月3月の卒業証書・学位記授与式は二日に分けて開催され、卒業祝賀会・新会員入会歓迎会は中止とする。4月の入学式も分散開催され、ともに来賓の臨席は見合わせる。令和4年度の事業は開催を予定し準備する旨の説明が行われた。

(関寛会長の就任挨拶は、3頁に掲載)

追悼

名塩良一郎会長代理



株式会社ナシオ「お別れの会」が令和3年12月10日（金）札幌パークホテルにて行われました

名塩良一郎北海学園大学同窓会会長代理が令和3年11月12日88歳にて逝去されました。

株式会社ナシオの相談役であった名塩会長代理は、昭和30年経済学部を卒業し、昭和46年より昭和60年まで同窓会北見支部初代支部長、昭和54年より同窓会副会長を務められ、本学と同窓会の発展に多大な貢献をされました。

大学時代は、仲間とともに写真部を創部され、「札幌商業高校の1階と2階の踊り場を借りて暗室を作って現像をしたり、大学の行事を撮影した写真を売って部の活動資金にしたり、何ことも最初に物事を起こすと言う事は大変なことで、今となってはそのことが楽しい思い出として残っています。」と写真部60周年記念誌で回想されています。「ホームカミングデー」で開催される写真部OB会写真展には作品を毎年出品され、来場者を魅了しました。

写真部OB会より名誉会長を務められた名塩氏を偲んで、追悼の辞を掲載いたします。

名塩良一郎先輩

飛澤 茂夫（昭和46年経済学部卒業）

名塩さんは皆さんがご承知のとおり、同窓会ができた当初から会の役員として活躍されてきました。同時に私の所属する大学写真部OB会でも名誉会長としてずっとお世話になってきました。

OB会では毎年のように札幌市内の写真展会場や、大学の学園祭に参加して写真展を開催してきました。名塩さんもお孫さんの写真を中心に出席されています。会の運営にあたっては、毎年総会を実施していますが、名塩さんは毎年総会に出席されると同時に沢山のご寄付を出していただきました。本当に有り難うございます。総会では、いつも優しく会議の進行を聞いてくださり、運営する側としては本当にうれしく思いました。

総会後は毎回懇親会を実施していますが、最後まで参加して頂きました。年配者だけでなく若い世代とも話し相手となり、楽しい時間とアルコールの美味しい時間を過ごしました。最近10年間程の写真部OB会写真展は、大学の学園祭に合わせて大学の広い廊下で実施しています。最近撮影した作品を半切の大きさにプリントして展示しています。展示に当たっては、同窓会の事務局の皆様に変なお世話になっております。

出品者は写真部OB会総会の出席者がほとんどです。プロのカメラマンもいますが、ほとんどはアマチュアです。展示会当日には必ず名塩さんが見学に来てくれて、大学の食堂で昼食を食べ楽しい時間を過ごしました。

一時期、私が写真部OB会総会で選ばれて会長になりました。次の日に突然、名塩さんから私に電話がかかってきました。内容は「飛澤君、会長職は大変だろうけど心配しなくてもいいよ、何かあったら何でも相談に乗るから。お金の不足でも良いよ」とのことでした。びっくりでした。幸いお世話になることはありませんでしたが、会長職を無難にこなせたのは名塩先輩のおかげと心から感謝しています。ありがとうございます。安らかにやすみください。







## コロナと豪雪のもとでの入試

2022年度入試も新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける中で行われました。特に一般選抜(2月9日～12日)はオミクロン株による感染が大きく拡大する中で実施することになったのですが、それに加えて北海道ではその直前に記録的な豪雪があり、その影響でJRが数日間全面運休し、札幌市内の道路も大渋滞となるという予想外の事態のもとでの入試となりました。受験生は、日頃からコロナに感染しないように注意するだけでなく、試験当日には会場への移動に大変な思いをしたことと思います。そのような受験生の努力のおかげもあり、一般選抜を無事に実施することができ、関係者一同ほっとしています。

## 本学の志願状況

受験生を取り巻く環境は、この数年大きく変わってきました。それに対応して、「超安全志向」と呼ばれる傾向が定着し、年内に合格を決めてしまおうとする傾向や確実に合格できる大学に出願する傾向が強くなっています。また、昨年度からは新型コロナウイルスの影響により、受験生の「地元志向」が強くなったと言われています。これらの傾向に加えて、今年度は大学入学共通テストが大幅に難化したために、私立大学へ出願する受験生が増加しました。

本学の志願者数も全国的な傾向に足並みを揃える形で変動しています。今年度の志願者は、一般選抜が4,711人(昨年度比+6%)、大学入学共通テスト利用選抜(1期)が2,246人(昨年度比+14%)、合わせて6,957人(昨年度比+9%)と、昨年度よりも大幅に増加しました(詳細については右の表をご覧ください)。これは、上述の「超安全志向」と共通テストの大幅な難化の影響が重なった結果ではないかと考えられます。これらの選抜試験については2月24日に合格発表が行われました。また、新型コロナウイルスの感染者あるいは濃厚接触者になったために一般選抜を受けられなかった受験生22人に対して、追試験が2月26日に実施され、合格発表が3月4日に行われました。

最後に、本学では新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけとして、この2年間、WEBを用いた入試広報を強化してきました。そのサイト[hgu\_ROOMS(https://rooms.hgu.jp)]は受験生向けの内容ではありますが、現在の北海学園大学の様子がよく分かる構成になっています。同窓生の皆さんにも訪問していただけるとありがたいです。

表1 2022年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜(1期)結果

		一般選抜					
学部・学科	募集人員	志願者数				合格者数	
		2021年度	2022年度	前年比(人)	前年比(%)		
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	160	1,247	1,194	-53	95.7	532
	経営学科	69	531	555	24	104.5	249
	経営情報学科	55	310	417	107	134.5	208
	法学部(法律学科・政治学科)	130	680	793	113	116.6	322
	日本文化学科	51	252	291	39	115.5	97
	英米文化学科	46	233	242	9	103.9	117
	社会環境工学科	23	103	133	30	129.1	97
	建築学科	20	125	154	29	123.2	84
	電子情報工学科	35	182	194	12	106.6	120
	生命工学科	20	88	107	19	121.6	68
1部計	609	3,751	4,080	329	108.8	1,894	
2部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	42	273	201	-74	73.6	215
	経営学科	50	153	140	-13	91.5	97
	法学部(法律学科・政治学科)	72	177	216	39	122.0	306
	日本文化学科	14	44	40	-4	90.9	26
	英米文化学科	10	29	34	5	117.2	31
2部計	188	676	631	-45	93.3	675	
合計	797	4,427	4,711	284	106.4	2,569	

大学入学共通テスト利用選抜(1期)

		大学入学共通テスト利用選抜(1期)					
学部・学科	募集人員	志願者数				合格者数	
		2021年度	2022年度	前年比(人)	前年比(%)		
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	30	252	340	88	134.9	182
	経営学科	45	304	333	29	119.8	222
	経営情報学科	45	207	162	-45	79.2	116
	法学部(法律学科・政治学科)	30	200	261	61	130.5	126
	日本文化学科	12	122	199	77	163.1	119
	英米文化学科	12	146	212	66	145.2	168
	社会環境工学科	10	165	134	-31	81.2	106
	建築学科	12	136	151	15	110.2	110
	電子情報工学科	10	230	248	18	107.8	185
	生命工学科	12	148	127	-21	85.8	97
1部計	218	1,910	2,167	257	113.5	1,431	
2部	日本文化学科	6	29	41	12	141.4	34
	英米文化学科	6	29	38	9	131.0	22
2部計	12	58	79	21	136.2	56	
合計	230	1,968	2,246	278	114.1	1,487	
一般選抜・共通テスト利用選抜 合計		1,027	6,395	6,957	562	108.8	4,056

\* 経済学部・法学部は学部単位の募集です。  
\* 2部合格者数は第二志望合格者を含む数字です。

# 就職戦線2021

キャリア支援センター長 春日 賢

文部科学省と厚生労働省の中間報告によると、令和3年10月1日現在で大学生の就職内定率は71.2%（前年同期比1.4ポイント上昇）でした。経済の落ち込みで採用人数の減少が懸念されましたが、採用意欲の高い業種は少なくありません。旅行業界など採用を控えざるを得ない業界もあるものの、全体としてはコロナ禍前の人手不足による「売り手市場」の傾向は続いています。ただ、緊急事態宣言などの発令もあり、解除後に後ろ倒しで採用活動を積極化させています。本学にも、いまだ多数の求人が寄せられています。

今年でコロナ禍での就職活動も2年目となり、企業説明会や面接のオンライン実施が普及しました。企業側は経験やノウハウを蓄積できますが、ほとんどが就活を初めて経験する学生にとってはいまだ手探りの状態にあるようです。対面ほど自分の個性をうまくアピールできない、あるいは長引く行動制限により、自己アピールとなる「学生時代に力を入れていたこと」(ガクチカ)をうまくつづれない、

といった声が聞かれます。また本学学生の今年度の印象としては、安定志向が強まっていることや、最終的な進路の決定を期限ギリギリまで保留するケースが多いことがあります。

本キャリア支援センターでは、これまでコロナ禍に対応した就職支援を心がけてきました。エントリーシート添削や面接練習には電話やメール、Zoomを使い、自作作成動画によるガイダンスや講座の配信などを行っています。またキャリア相談や学内企業説明会の開催には、オンラインと対面を併用して行っています。もちろん対面の際には、感染防止対策を徹底しています。学内企業説明会は学生と企業のマッチングの場を提供するものであり、その他でも公務員対策、業界・企業研究、ガクチカ作成といった各種セミナーを行うなど、コロナ禍でも学生ができるだけ納得した活動を行えるような支援体制をとっています。ぜひ本センターを積極的に利用し、就職活動に役立てていただければと思います。



民間就職ガイダンス



面接セミナー

現役学生インタビュー

北海学園大学硬式野球部

鈴木大和さん

(経済学部経済学科4年)



巨人からの育成選手1位指名  
俊足をさらに鍛えて、夢だった世界に挑戦

2021年10月11日のプロ野球ドラフト会議で、読売ジャイアンツから育成選手として1位指名を受けた鈴木大和さん。俊足巧打のリードオフマンとして成長と活躍が期待されています。プロ野球の厳しい世界に挑戦する思いを聞きました。

プロ野球を意識したのはいつごろからですか？ 挑戦への決意はどのように生まれましたか？

野球の世界で生きてみたいという漠然とした希望は持っていました。長い人生を考えると、ためらいもありました。自分とはどちらかといえば慎重な性格なので、3年生では就活をして、関東の企業で軟式野球をすることになっていました。でもコロナ禍の状況もあり、やっぱり挑戦してみようと



気持ちを固めて、プロ志望届を出しました。ドラフト会議が近づくといくつかの球団から問い合わせがあり、巨人から育成枠で指名をいただくこと、さらに強い思いが湧いてきました。5年10年経って、「あのときチャレンジしていれば良かった」と後悔したくないと思っただけです。両親もこの気持ちで応援してくれました。厳しい競争が待っていますが、このチャンスに思い切りぶつかっていききたいです。

北海高校時代の同級生で、2年と3年のときに共に甲子園に行った阪口皓亮君(投手)がすでに横浜DeNAベイスターズでプロになっていることにも刺激を受けました。同じ学年の川村友斗君(仙台大学)も、今回のドラフトで福岡ソフトバンクホークスの育成選手となりましたから、お互いががんばっていききたいです。



野球を始めたのは、地元北広島で小学校2年生のとき。強いチームだったので、勝つことの楽しさを知って夢中になりました。中学からは札幌のクラブチーム(札幌豊平ボーイズ)で硬式野球の世界に入ります。練習日には毎回親が車で真駒内の球場まで連れて行ってくれました。帰りには疲れてシートでぐったりしていましたが、いま思えばたいへんな苦労をかけていたんだな、と思います。当時はそんなこと考えもしなくて。あらためて感謝しありません。

高校進学するとき、地元(北広島)の高校も考えていたのですが、クラブチームの監督が北海高校の練習を体験してみようとおっしゃいました。多くの選手が甲子園やプロ野球で活躍してきた伝統の力を感じて、ここで野球をしたい!と思いました。当時から足が速かったので、実は陸上部からも誘われました。

2年生夏の甲子園では準優勝することができましたが、作新学院との決勝で、エースの今井達也投手(現・埼玉西武ライオンズ)から2本のヒットを打ったことが良い思い出です。

大学での野球生活をどのように総括しますか？

1年生の春に入れ替え戦があつて、2部に落ちてしまう危機もありましたが、なんとかふんばりました。3年の秋にリーグ戦(札幌六大学)で2位になり、個人ではベストナイン(中堅手)にも選ばれました。主将になった4年の春でようやく優勝できました。チームを引っ張ったりまとめるキャプテンの仕事から、たくさんのことを学んだと思います。

入寮前のいまは、北海高校の体育館で身体づくりをさせてもらっていて、まず施設や設備の面でも恵まれていると思います。そしてなんといっても先輩たちの存在は大きいです。つねに野球部への具体的な支援をいただいている、感謝しています。また、プロ野球をはじめ、OBが道内外の野球界にたくさんいらっしゃいますから、そうしたらネットワークの力も感じます。ジャイアンツには高校の先輩で投手の鎌谷陽平さんがいらっしゃいますから、まったく知らない世界に入っていくという気持ちはありません。ただ、高校・大学のチームメイトも先輩たちも、これからは手強いライバルでもあります。高い意識で、思い切った挑戦したいです。

(2021年12月16日・同窓会事務室にてインタビュー)



現役学生インタビュー

北海学園大学ボクシング部

南保 咲空さん

(人文学部英米文化学科1年)

志賀 成珠さん

(人文学部英米文化学科1年)



第1回全日本マスボクシング大会で第1位と第2位を獲得 マスボクシングの世界を知ってください

マスボクシングという競技を知っていますか？パンチを当てない寸止めボクシングで、相手の防御反応を上回る寸止めパンチを繰り出すとポイントが加算されていきます。昨年11月に行われた第1回全日本マスボクシング大会で、ボクシング部の南保咲空さんが見事第1位(U30女子156〜165cmの部)、違うクラス(同155cm以下の部)で志賀成珠さんが2位の成績を収めました。



左から南保咲空さん、志賀成珠さん

ふたりとも実戦のボクシングのトレーニングをするかたわら、マスボクシングの全国大会に出場したのですね。ボクシングを始めたいきさつを教えてください。

南保 小学校1年生から空手をやっていて、高校まで続けていました。格闘系のスポーツが好きなので、大学に入ったら違うものをやろうと思っていて、ボクシングに引かれました。ちなみに、父も北海学園大学で学んだのです。空手とボクシングは似ているようで全く違う世界なので、はじめのころは苦労しました。空手ではまず横の動きを意識するのですが、ボクシングでは縦の動きが重要なのです。

志賀 私は小学校2年生から。父が千歳でボクシングジムをやっています。小学校の

ころは父から自然に教わっていました。体を動かすのが楽しかったんだと思います。中学、高校は文化系の部活でした。でも北海学園大学に入って、「あつ、ボクシング部があるんだ」と気づくと、なんだかまたやってみたくなったのです。父は当然、喜んでいました(笑)。

コロナ禍で、練習でも換気と消毒には十分注意していたと思いますが、ボクシング部の香はどのように始まりましたか？

南保 いちばんはじめは、ロープ(縄跳び)のトレーニングから。3分やっただけで汗が全身から吹きだして、ヘトヘトになりましたが、とても爽快な気持ちになりました。空手の練習では味わったことのない感覚でした。いまは15分くらい余裕をもってできるようになっています。パンチのトレーニングは、まず基本のジャブの形を教わって、延々とシャドートレーニングを繰り返しました。

志賀 ボクシングの世界はある程度なじみのあるものですが、実際に本格的に始めてみると、難しいし、面白いです。打ち合えないないマスボクシングにも、独特の難しさがあります。とにかく手を出し、動き続けなければなりません。

南保 パンチが当たっちゃうと減点されるし。志賀 そうそう。私は子どもころから必要以上に緊張するタイプで、それが自分で嫌だったのですが、人が観ている中でリングに上がって、体ひとつで相手と向き合うことを繰り返すうちに、メンタルが鍛えられていっていると思います。今回は2位だったので、次は絶対1位になりたいです。

南保 次は練習をしつかり積んで実戦で勝ちたいです。

マスボクシングは、幅広い世代が楽しめるボクシングだと聞きました。同窓会の先輩たちにオススメしていただけますか？

南保 女子でも、ボクシングに興味はあるけど実際に打ち合ったりするのは怖くてイヤだ、と思っている人がいると思います。そういう人にはマスボクシングがオススメです。ボクシングの基本の動きはきちんと身につきますし、フィットネスやダイエットに

も効果抜群だと思います。

志賀 女子が始めるボクシングの入り口にぴったりですね。今回私たちが第1回の全国大会に出て、良い成績を取って帰ってきたので、新聞などにも取り上げてもらいました。それが女子ボクシングのイメージを良くしてくれると思います。

南保 マスボクシングは、日本ボクシング連盟が昨年(2021年)から正式な種目にしました。ボクシング界全体でも、ボクシング人口のすそ野を広げるために力を入れているので、私たちがきっかけでマスボクシングに興味をもっていたら、とてもうれしいです。

志賀 全日本の大会ではU70(70歳以下)という部門もありますから、50代60代の女性でも、もちろん男性でも、手軽に安全に始められると思います。

おふたりともまだ1年生です。ボクシング、それからこれからの大学生活への希望や夢を聞かせてください。

南保 空手のクセが抜けなかったと言いましたが、体のキレとかスピードは、空手で鍛えた要素をうまく活かしていきたいと思っています。それと大学生活では、去年はオンラインだった十月祭をリアルでやってみたい。ボクシング部で屋台を出したりね。

志賀 やりたいね！十月祭。ボクシングでは、もつとスタミナをつけたいです。スピードも大切。学生生活では、いまアルバイトをしています。お金を貯めてはやく車の免許を取りたいです。(2022年1月18日・ボクシング場にてインタビュー)







シルクアート作品「水月」

Hokkai-Gakuen OG

# OGの本棚

クリエイター

## 米田由美子氏

経済学部 1 部経済学科  
37 期 1990 (平成 2) 年卒業

—プロフィール—

1967年 下川町生まれ。  
1990年 北海学園大学  
経済学部経済学科卒業、  
広告企画会社に営業職と  
して入社。その後、販売  
職、フラワーショップの  
共同経営者を経て、有限  
会社ピークリエイイト設立、  
代表取締役役に就任。クリ  
エーター。2002年から  
現職。



—幼少期や在学時の思い出、起業する  
までの経緯をお話し頂けますか

子どもの頃から絵を描くことが好きで、休みの日には絵を描いていました。小学生の時は、絵と言っても漫画の本を見ながら模写したり、色を付けたりする程度だったのですが、中学生の時には、友達7人と毎日、ノートにひとつずつセリフを入れた絵を描いては、みんなでまわし読みをしていました。

高校生になると、詩集・絵集のようなものを制作して、仲間内で1冊100円で販売するようになりました。当時の友達の中に、詩を書くのが上手な人がいたのがきっかけで、その詩に挿絵をつけて本にして販売することになったのです。最初は2〜3人で始めた活動だったのですが、「私も描きたい!」という人が増えてきて、結局、20人くらいで企画をし、絵を描き、編集をして、月に50冊程度販売するようになりました。今で言ったらSNS的なことになるのですかね。田舎にいたにもかかわらず、結構、クリエイティブなことをやっていたなと思います(笑)。

今、思えば、私が、クリエイティブな活動をするようになった原点は、祖父の仕事場だと思っています。実家の隣に家具職人をしていた祖父がいて、機械や木材がいっぱいあった仕事場でずっと遊んでいたのです。そこに月刊誌「室内」という雑誌があり、その雑誌に載っている家具などの写真を見るのが好きだったのです。その雑誌の影響もあって「デザイン」は面白そうだなとは思っていたのですが、それを学ぶ進路に進もうという気は全く起こらなかった。「デザイン」の道で食べていけるかどうか、田舎に住んでいた私には想像もできなかった

ので、あくまで趣味かなと思っていました。大学時代は、バイクの免許を取って、アルバイトで貯めたお金でバイクを買いました。250ccのホンダCBR。レディーズツーリングクラブのお姉さま達や大学のバイク同好会の仲間たちなど、いろいろな人たちと一緒にツーリングをしたことがとても楽しい思い出です。

特に思い出深いのは、大学4年生の夏休みに、フェリーで苫小牧から八戸に渡って、キャンプをしながら千葉まで行った1週間の人旅。一人でいるので、いろいろな人に声を掛けられるのですが、そんな中で一人大きなバイクに乗っていたお姉さまに「二人なら一緒に温泉まで行きましょう!」と声を掛けられ、秋田の乳頭温泉に行ったり、ご飯を食べて星空を眺めながら語ったりと、とても楽しくて忘れられない体験をしました。

大学卒業後は、札幌で広告企画会社に入社し、営業職として4年間働きました。その後は、携帯電話の販売会社、フラワーショップの共同経営を経て、外構・造園の図面やプラン作りをメインとした有限会社ピークリエイイトを設立しました。

趣味で良いかなと思っていた「デザイン」を仕事にしようと思ったのは、29歳の時で、花屋さんを経営していた時なのです。どの会社で働いていても、絵を描いたり、POPを作ったり、庭のプランニングを考えたりと必ず「デザイン」の仕事に引き戻されてしまうな気がついて……。その意味で、私に「デザイン」を仕事にしようと思ったのはその時であり、まさに分岐点だったと思っています。



—影響を受けた本を三冊で紹介いただきますか

あまり難しい本は読んできていませんが、本を通じて「チャレンジして、失敗しても悪くはない!」ということを学んだ気がします。

### 「ゆめみるスヌーピー」

(チャールズ・シュルツ著、谷川俊太郎訳、ツル・コミック社)

絵を描くきっかけになった本

小学校低学年の時に読んでいました。すごく面白いというわけではないのですが、日常の他愛のない出来事に対して、自虐的な表現があるマンガで、読んだというよりも眺めている感覚で、実際には読んでいなかったと思います(笑)。画像としてなんとなく見ていた、雰囲気を楽しんでいたと言った方が正しいと思います。



今でも覚えています。この本を読んで感じたことは、「この感性が自分にドンピシャだ!」でした。だから、とにかく絵を写して描いていました。世界的有名犬、「スヌーピー」は私にとつて絵を描くきっかけになった本です。

実は、私、14年ほど前から継続して昭和南山熊牧場のゴンタ通信という4コマ漫画を毎月1本、公式ホームページ上で公開をしているのですが、そこで描いている漫画は、この本の感性に近付きたいと思いながら制作をしています。

### 「バリバリ伝説」

(全38巻、しげの秀一著、講談社)

見たこともない景色を見たという強い欲求があった

高校2年生の頃に読んでいました。学校で誰かが持ってきていたその本を回し読みしたのが、「バリバリ伝説」との出会いです。あらすじは、高校生ライダー巨摩郡が、ロードレースの世界に入つて、アマチュアから世界チャンピオンになるというストーリーなのですが、私は、読んだ瞬間に絶対にバイクに乗ろうと思っていました。

あの頃は、なぜ、あれほどバイクに憧れていたのだらうかと考えると、どこにでも行くことができる自由が良かったのではないかと思っています。自分で好きな所に行くことができる、すごく遠い所まで何の制限もなく行くことができることに憧れていたのかなど。田舎で育っている、行くことができる所が限られていて、それが理由で見たこともない景色を見たいという欲



求が強くあったのだと思います。バイクは、私の視野をうんと広げてくれました。また、この本のようにレース場を走ることはありませんでしたが、パイロンを立てたコースでタイムトライアルをするイベントにはよく参加していました!

### 「森羅万象」

(全10巻、伊勢白山道著、経済界)

自分と向き合うことができるようになった

この本は、10年ほど前から現在に至るまで継続的に読んでいます。世にある精神世界のことを分かりやすく説いている本で、筆者のブログもあり、多くの気づきを私に与えてくれます。

振り返ると私の20代は、とても辛い時期でした。その頃の私は、すごく好奇心があり、なんでもチャレンジしてみたい、いろいろ覗いてみたい時期で、チャレンジしては失敗し、またチャレンジしては失敗しての繰り返しでした。

でも、今は、失敗の連続だった20代を、「あ

れはこういうことだったのか!」と自分に起こった出来事に対して客観的に捉えることができるようになったのは、この本やブログに接したからだと思っています。もしかすると今この瞬間にも、さまざまなプレッシャーやトラブルに見舞われていて、悩んでも手につかない状況の人がいるのかもしれませんが、そんな時こそ、それらに対して俯瞰できるように頑張って欲しいと思います。今は辛くても時間が経つと、きつと解決してくれるはずなのです。

—最後に若い世代に向けてのエールをお願いします

私は、ピークリイトを設立した時には、もう結婚していて、その後に長女が生まれました。子どもが生まれたとしても、今まで通り、変わらずに仕事をしたいと思っていたのですが、育児をしながら仕事をすることは思っていた以上に大変で、両親を含め、保育園などの行政サポートがなければできなかったと思っています。しかし、その一方で、育児をしているからといって、やりたいことを譲りたくないという気持ちも強く抱っていました。大変ではありますが、私にもできました! ですから、若い方たちには、結婚をして子どもを生むことと引きかえにキャリアを諦めることなく、自分のやりたいことにチャレンジをし、どんな社会を変えて新しい時代を作つて欲しいと思っています。

これからは、多様性という意味でも女性が重要な役割を担います。女性の活躍がもっと期待される時代になると思っています。

(インタビュー: 澁谷政憲(経済学部1部) 経営学科26期・平成6年卒業)

# OPEN SPACE

オープンスペース

## ボート部復活のため、OBからのお願い ボート部 初代 OB：浅木 勝

昭和 38 (1963) 年に創部したボート部は昭和 40 (1965) 年の第 8 回全日本大学ナックルフォア選手権大会で優勝した実績があり、約 160 名の部員を輩出しております。

しかし、ここ数年部員が減少し、現在は残念なことに休部状態です。

練習場所は札幌市北区にあるシャトレーゼ・ガトーキングダム・サップロの対岸にある茨戸 (ばらと) です。週末に OB が集まり、私 (77 歳) も「生涯スポーツ・ボート」を楽しんでいます。

しかし、北大、小樽商大、石狩翔陽高校、社会人等のクルーの中には母校の姿は無く、残念でなりません。

そこで、OB の有志が集まり「ボート部復活」を目指し、札幌ボート協会の会長・中川信治さんを中心に活動しています。ボートという素晴らしいスポーツに感心のある学生さんがおりましたら経験の有無を問わず、相談ください。

今でも漕いでいる 6 代の椿谷雄一さんが皆さんを親身になってお世話いたします。連絡を受け次第、共に考えて応援させていただきますので遠慮無く連絡ください。



後列左より 椿谷、白倉、三吉、大谷、中川、斉藤、武田、浅木  
前列 本間



2021 年 10 月、力漕する北海学園大学 OB

連絡先／初代：浅木 勝 (電話：090-5075-6131)  
昭和 42 年・経済学部 1 部経済学科卒業

4 代：中川信治 (電話：090-2072-7904)  
昭和 45 年・経済学部 1 部経営学科卒業

6 代：椿谷雄一 (電話：080-1897-9803)  
昭和 47 年・経済学部 1 部経営学科卒業

## 工学部生命工学科発「2021 年度 学園オリジナルワイン」まもなく完成

工学部生命工学科では八剣山ワイナリー (亀和田俊一社長・札幌市南区) と連携し、小山芳一教授が中心となってワインプロジェクトを進めてまいりました。プロジェクト 4 年目となる 2021 年度は、これまでの赤ワイン・スパークリングワインに加え、新たに白ワインの醸造も行っています。この 3 つのワインは 2022 年 4 月下旬以降完成予定です。これらのワインには、生命工学科新沼協研究室の卒業研究の成果で、「テロワール (土地の個性)」を重視したワインづくりを目指し八剣山ワイナリーのブドウ畑から単離・選抜した、学園オリジナルワイン醸造好適酵母 HGU-140 が使用されています。

学園オリジナルワインは八剣山ワイナリー他、下記の店舗でご購入いただけます。詳細は学園オリジナルワインホームページ (<https://hguwine.wixsite.com/mysite-1>) をご覧ください。

- 八剣山ワイナリー**  
札幌市南区砥山 194-1  
TEL. 011-596-3981

---

- ワインショップフジキ**  
札幌市中央区南 3 条西 3 丁目 1-2  
TEL. 011-231-1684

---

- マルヨ吉田商店**  
札幌市中央区北 1 条西 24 丁目  
ミニまるいちば  
TEL. 011-641-4345

---

- さっぽろ西町ハム工房 直売店**  
札幌市西区西町北 18 丁目 1-1  
TEL. 011-663-2305

- カネキ小銅商店**  
札幌市中央区北 2 条東 11 丁目 23  
TEL. 011-241-6045

---

- コープさっぽろ やまはな店**  
札幌市中央区南 22 条西 10 丁目 1 番地 1 号  
TEL. 011-205-7011

---

- コープさっぽろ ソシア店**  
札幌市南区川沿 5 条 2 丁目 3-10  
TEL. 011-571-5141



製作中の 2021 年度ワインラベル 3 種 (手前：デザインは変更になる場合あり) と完成間近の 2021 年度赤ワイン (右奥)。左奥は 2020 年度赤ワイン



写真集出版のお知らせ——土門拳賞にノミネートされました！

写真集「北の人びと Place People —1991 Last USSR, 1975-2021 青森 北海道—」

卒業記念アルバムや本誌「豊平会報」の撮影、制作などに携わっている株式会社ラボットの佐々木郁夫さんが昨年末に写真集を出版されましたのでご案内します。「同窓生の皆様にも、ぜひ見ていただきたい」と同窓会事務局にも寄贈いただきました。

この写真集は、1991年の旧ソヴィエト連邦が崩壊したきっかけとなったクーデター直後のモスクワ、旧樺太＝サハリンやアムール川地域を撮影した写真と、1975年の本学写真部在籍時代から現在に至るまで北海道などを撮影した写真で制作されています。

前書きにはこう書かれています。「これらの写真は、1991年のある日、ある場所に、ある人たちがいた記しです。そして、そこに繋がる1975年から現在までの私の写真行為から、特に「北の人びと」の存在を写した写真です。

1991年8月19日、旧ソヴィエト連邦で起こったクーデターに世界中が驚きました。学生時代から興味があった北



の地ロシアへの撮影行を計画し、ビザを申請したその10日後のことでした。ベルリンの壁崩壊など1989年の東欧諸国の急激な変化が連鎖のように広がり始めていた時代です。ソ連にもその波が及んだのでした。ついに12月にはソヴィエト連

邦が消滅しました。約20日間、クーデター直後のモスクワや、この撮影行の主目的地旧樺太＝サハリン、大陸側アムール川沿いのハバロフスク、北方少数民族ナナイ族の村シカチ・アリヤンと、約100本のフィルムに収めてきました。北海道に住む私にとって樺太・サハリンは、歴史的にも暮らしにおいても身近な存在と感じていました。」



写真左2枚はサハリン・ユジノサハリンスク、旧樺太・豊原、右は様似町

「北の人びと Place People —1991 Last USSR, 1975-2021 青森・北海道—」

- ◆発行：2021年12月20日
- ◆発行所：共同文化社 A4変型判 208ページ  
販売価格 4,950円（税込）
- ◆お求めは、北海学園生協 G'books、お近くの書店／共同文化社 Tel.011-251-8078  
<https://www.kyodo-bunkasha.net/>（共同文化社販売サイト）／アマゾンなどのオンラインショップ／ラボット Tel.Fax.011-815-5307 info@labott.co.jp

西村 宣彦 北海学園大学開発研究所長 写真集「北の人びと Place People —」について



開発研究所長 西村 宣彦 経済学部教授

開発研究所長の西村宣彦教授より 写真集の感想を寄せていただきました

北海学園大学の公式カメラマンとして、長年にわたり本学の学生を撮り続けてきた佐々木郁夫さんが、写真集「北の人びと Place People —1991 Last USSR, 1975-2021 青森・北海道」を出版しました。写真集は2部構成になっており、前半は、佐々木さんが今から30年前の1991年に、約70年続いた社会主義体制が崩壊する渦中にあつたソ連（現ロシア）を訪問し、モスクワや極東・サハリンの街角で撮影した160枚の写真です。社会主義国ならではの飾り気のない風景をバックに、人間味溢れた様々な表情を浮かべる人びとの姿が、モノトーンの写真に印象的に写し出されています。「エリツィン」と書かれたプラカードを持つ女性の写真もありますが、佐々木さんの眼差しは政治や報道ではなく、あくまで「人びと」に向けられています。30年前の異国の人々の写真に、なぜか懐かしさを覚えるのは、極東地域のアジア系の人びとの写真が少なくないことに加えて、そこに昭和の時代を生きてきた日本人に合い通ずる精神性とその情景が、写し出されているからでしょう。

後半は、佐々木さんが1975年から2021年の46年間に、北海道と青森の様々な場所で撮った55枚の写真です。前半のソ連の写真から違和感なくページをめくれるのは、「北方の地に生きる無名の人びとの姿を、ありのままに写す」という主題が一貫しているからでしょう。今はなき夕張の炭住街や鉱夫達の写真は、「ありのまま」が変わっていくことのはかなさも伝えてくれますが、と同時に佐々木さんの写真には、時間が流れても変わらないもの、変わってはならないものが写し出されています。子どもも大人も、若者も老人も、男も女も、漁村も炭鉱も、笑顔も澄まし顔も、すべての人の人生の尊さを、貴賤なく浮かび上がらせる、佐々木さんの優しい眼差しに、温かな余韻を感じながら、そっとページを閉じました。



パリケードが残るクーデター跡を訪れ、花束を手向け結婚式に向かうカップル

### ふきのとう子ども図書館のご紹介

すべての子どもに本の喜びを！ ふきのとう子ども図書館は、一般児童書のほか、「布の本」や「拡大写本」の閲覧・貸出しをしています。トドマツやカラマツなどの道産木材を使用した木の温もりがたっぷりの空間には、うたう会やおはなし会などが出来る多目的ホールもあり、運営の殆どがボランティアで行われています。

布の本は、フェルトなどの布地にボタンやファスナー、ひもなどを使用し、パーツを付けたり外したり、ひもを結んで遊ぶことが出来るようになっていきます。最初は障がいをもつ子どもたちにも布の本に触れてもらいたいと作られたものですが、今では、障がいをもつ子どもだけではなく子どもも分け隔てなく布の本を楽しめて、大人気です。また、弱視の子どものための拡大写本は、ゴシック体に縦書きのものは横書きに打ち直しされています。どちらも2階にある作業室で一つひとつ丁寧にボランティアのスタッフによって手作りされています。

ふきのとう文庫は1970年、岩波書店の元編集者であった小林静江さんが障がい児向けの読書スペースを自宅に開設したのが始まりです。現在は、本学名誉教授の高倉嗣昌先生が代表理事を、本学OBの杉山一夫さん（昭和48年法学部卒業）が業務執行理事を務められています。

2014年に高倉先生が所有される土地を財団に寄付され、西区から現在の中央区に新築移転し、2020年にはふきのとう文庫活動50年を迎えました。

コロナ禍で何かと活動が制限されていますが、子どもも大人も一緒に楽しめるふきのとう子ども図書館に一度足を運んでみませんか。



上：木の温もりあふれる子ども図書館  
下：布の本 ふきのとう文庫製作



初代理事長の小林静江さんと  
現代表理事の高倉嗣昌先生

#### 公益財団法人 ふきのとう文庫

〒060-0006 札幌市中央区北6条西12丁目8-3  
TEL. 011-222-4839 FAX. 011-222-4800  
ホームページ <http://www.fukinotou.org>

### 令和3年司法試験合格者

法務省から令和3年9月7日、司法試験の結果が発表されました。  
本学法務研究科（平成30年度を以って学生募集停止）から佐々木慶太さんが合格しました。

### 事務局からのお知らせ

#### ◆支部長交替

石狩市役所支部 令和4年4月1日付 及川 浩史 氏 ⇒ 安崎 克仁 氏 (昭和62年経済学部卒業)

#### ◆訃報

##### 宮下 次夫 氏

昭和37年経済学部卒業  
江別支部長（平成29年～令和3年）  
令和3年4月9日逝去（81歳）

##### 篠原 勇次 氏

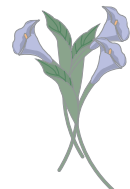
昭和43年経済学部卒業  
卒業期評議員（平成11年～令和3年）  
令和3年12月31日逝去（75歳）

##### 松村 義則 氏

昭和49年法学部卒業  
卒業期評議員（平成11年～令和3年）  
令和3年12月6日逝去（77歳）

##### 中川 正昭 氏

昭和33年経済学部卒業  
経五期会評議員（平成22年～令和4年）  
令和4年1月15日逝去（87歳）



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、  
応援よろしくお祈いします！

### 【ハンドボール部】 主将 佐野 大河 工学部建築学科 3年



ハンドボール部は現在3年生10名、2年生6名、1年生7名、マネージャー12名の計35名で活動しています。直近の大会戦績としましては、10月に行われました秋季リーグ戦で1部4位という結果となり、様々な課題や成長が見つけられました。次の大会に向けてその課題をクリアできるようチーム一同全力を尽くしております。

また、日々指導をしてくださっている監督やコーチ、部活の練習道具のサポートなどをはじめとして、多くの面でOBの方々に支えていただきながら日々練習に励んでいます。

新型コロナウイルスによる影響にしましては現在もゼロではありませんが、

今年度からは徹底した感染対策のもと少しずつ大会を行うことができ、以前の様な活気ある雰囲気に戻りつつあることを感じ嬉しく思っています。新体制を迎え、来年度の大会においてチームとして納得のいく結果を残せるよう技術向上に努めて参りますので、今後とも応援の程よろしくお祈いいたします。



### 【I部自治会執行部】 委員長 中野 愛子 経営学部経営学科 2年

I部自治会は今年度で73代目となりました。大学の中で自治会という組織は「学生生活を守り、維持・向上させる」ことを前提として作られ、北海学園大学では書記部、財務部、企画部の三部構成で活動しています。昨今問題となっているコロナウイルスの影響で自治会の入部希望者が減少し、活動が厳しくなっているのが現状です。しかしながら、コロナ禍であるが故の活動もあるのも事実です。新入生歓迎会やPR大会といった活動をオンラインに変更し、できる限り学生生活の質が低下しないよう心掛け、II部自治会と協力して行っている食糧支援は6度行われ、多くの学生から感謝の言葉をいただいております。これらの活動は学生大会で認証された活動であり、学生からの承認の上行い、また、学生大会では各サークルの予算・決算の集計を行い安心してサークル活動をおこなっていただけるよう尽力しております。



2022年はコロナウイルスが終息することを願いつつ、対面での行事を復活させるとともにコロナ禍で学んだことも活かし、これまで以上に学生が充実した学校生活を送れるよう精進していきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお祈いいたします。

### 住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)または、ホームページ (<https://www.hgu-dousoukai.org/address/>)、FAX (011-816-1001) にて、同窓会事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。

### 北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

TEL: 011-841-1161 (内線 1148・1168)

FAX: 011-816-1001

E-Mail: [doso.hgu@k8.dion.ne.jp](mailto:doso.hgu@k8.dion.ne.jp)

ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>



北海学園大学体育館・旧図書館

梅本 成利 作

プロフィール: 経済学部経済学科 昭和57年卒業